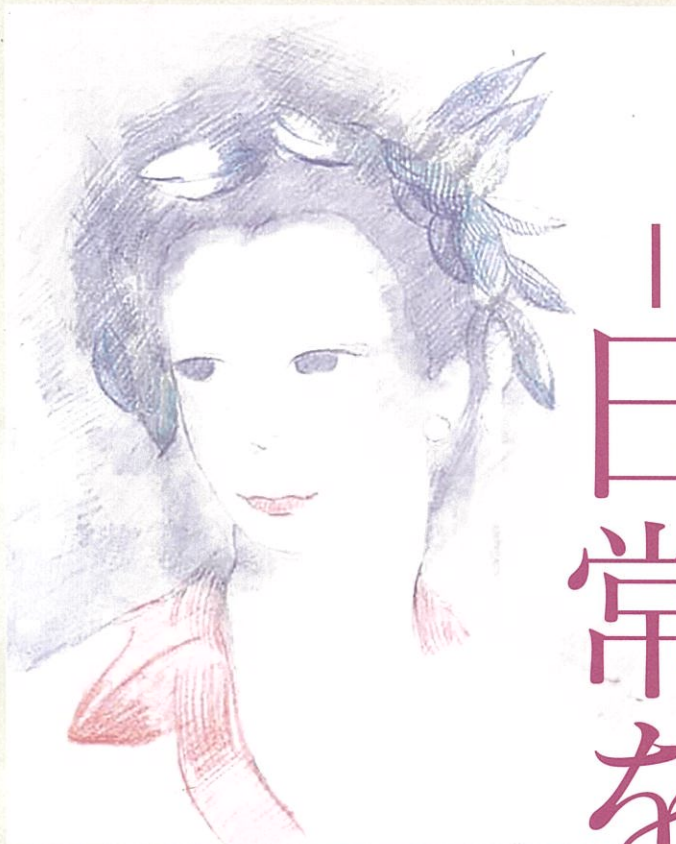
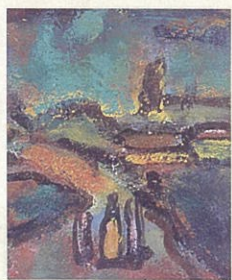


■Exhibition Collections of Yoshimura -Beauties Coloring Dairy Life-
【Exhibition dates】 January 25th (Thu) – February 25th (Sun)



企画展



吉村コレクション — 日常を彩る美 — シンヨ



会期 2024(令和6)年

1月25日(木)

—
2月25日(日)



中山道広重美術館

Hiroshige Museum of Art, Ena

企画展 吉村コレクション—日常を彩る美—

2024(令和6)年
会期 1月25日(木) - 2月25日(日)

観覧料 一般520円(20名以上の団体は420円)
▲18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。
開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(2月12日(月)を除く)、2月13日(火)
主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館

【関連イベント】

- 学芸員による作品ガイド
日時：2月4日(日) 午前10時30分～(30分程度)
場所：展示室2(2F)
- 美術館ボランティア幽遊会による概要説明
日時：随時(要事前予約)

〈展覧会内容〉

吉村コレクションは、2001年に恵那市出身の吉村トシ子氏(1920-2001)より寄贈された美術品コレクションと、寄付された資金により翌年に購入した浮世絵作品とで構成されています。吉村氏の旧蔵品は日本画、洋画、工芸品など多岐にわたり、その人柄をうかがわせるような優美で柔かな作品ばかりです。また、寄付金により購入した「名所江戸百景」と「六十余州名所図会」は、歌川広重が晩年に手掛けた代表作であり、今日においても当館の主要なコレクションの一つです。本展では、吉村コレクションから選りすぐりの優品をご紹介します。吉村氏が日常的に愛で楽しんだ作品群をお楽しみください。

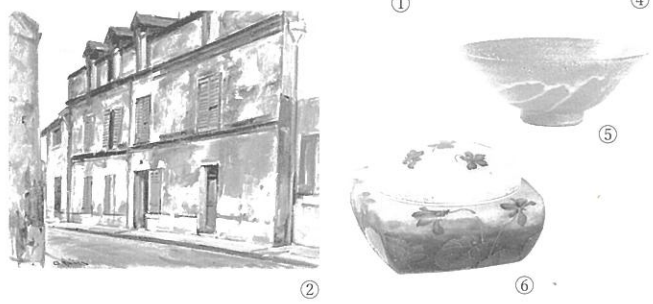
〈図版〉

歌川広重「六十余州名所図会 美濃 養老ノ滝」
大判錦絵 嘉永6年(1853)8月 当館蔵(吉村コレクション)



現在の岐阜県養老郡養老町にある、高さ30m、幅7mを誇る名瀑・養老の滝。その起源は、『続日本紀』に残されています。霊龜3年(717)、元正天皇が美濃へ行幸し、この滝を訪ねた際に「美泉以て老を養うべし」と述べられ、「養老の滝」と命名、年号を養老と改めたと伝わります。本図は、苔生す岩壁の間をまっすぐに落ちる瀑布を正面から捉えています。描線を用いずに藍のぼかしのみで表された滝は、豊かな水勢や迫力を感じさせます。

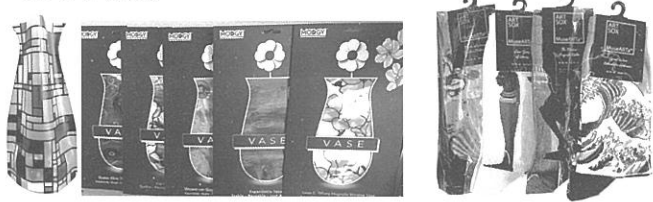
〈その他出品作品〉



- ① マリー・ローランサン「婦人」
 - ② 荻須高德「赤壁の家」 ③ 堂本印象「無題」
 - ④ ジョルジョ・ルオー「聖なる風景」
 - ⑤ 加藤唐九郎「とゝや風茶盃」
 - ⑥ ドーム「スマイレ文金彩蓋物」
- 全て中山道広重美術館蔵(吉村コレクション)

Museum Shop News ミュージアムショップから
アートワークスのアートグッズ

ミュージアムショップでは、世界の名画を使って様々なグッズを展開している(株)インサイトアートワークスの商品を取り扱っています。モネやゴッホ、クリムトやモンドリアンなどの作品をモチーフとしたグッズは、部屋に置くだけで明るい印象を与えます。アートグッズでさりげなく日常の空間を彩ってみませんか。



左：フラワーベース各1,650円(税込) 右：アートソックス各2,420円(税込)

中山道広重美術館
Hiroshige Museum of Art, Ena



〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1
TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322
<https://hiroshige-ena.jp>
*JR中央線恵那駅から直進徒歩約5分
*中央自動車道恵那インターから約5分



【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】
○毎週水曜日は観覧無料、フリーウエズデー(スポンサー) (株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタ
●毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー(スポンサー) (株)銀の森コーポレーション、
楽園住宅・カネコ・木KeyPoint、(株)サラダコスモ ちこり村